

1. 研究主題

「学び合い活動」を通して確かな学力を身に付ける生徒の育成 ～教科の特性を生かした「活用する力」を伸ばす指導の工夫～

2. 主題設定の理由

本校は、「たくましく かしこく 心豊かに」を学校教育目標とし、『たくましい生徒（たくましい体力と、気力のある生徒）・かしこい生徒（粘り強く自主的に学習に励む生徒）・心豊かな生徒（思いやりの心でみんなのために尽くす生徒）』を目指す生徒像としている。昨年度も、この生徒像の具現化に向けて、ほぼ同様の研究主題を掲げ研究を重ねてきた。その結果、何事にも一生懸命取り組み、目標達成に向けて努力しようとする姿や、学習に対して真剣に取り組み、課題に対する自身の意見や考えをもって学習に取り組もうとする姿が見られるようになってきた。また、表現活動という観点からは、自分の考えたことを文章や作品・発表の中に少しでも表現していこうとする姿、また、他の人の意見を大事に尊重しようとする姿も多く見られるようになった。中でも、「学び合い活動」は、教科のねらいを達成するためだけでなく、お互いを認め合い・高め合える活動として、人間関係を醸成していく上からもとても有効な活動であった。

しかしながら、学習規律の改善が図られ規律ある雰囲気のある授業の中でも、主体的に学習に取り組もうとする生徒の意識の高さという点からはまだ物足りなさを感じ、学習したことをさらに高めていこうとする意欲にも課題が感じられる。また、一問一答的な基本的な知識としては十分に定着していても、少し応用を加えた表現力や思考力を要する課題に対しては、依然として苦手意識を持つ生徒が多いのも事実である。

そこで、今年度はさらに、基礎・基本の確実な定着はもちろん、「思考力・判断力・表現力」いわゆる「活用する力」を育むことを目指し、常に学んだことを活用し向上していこうとする生徒の育成に取り組む、『確かな学力』を身に付けさせたい。昨年度の「学び合いの活動」を中心に研修を進めてきた結果、この研究の継続により「思考力・判断力・表現力」を育むことができるという感触は得られているので、よりいっそうの「思考力・判断力・表現力」の向上を図り、さらに質の高い「学び合いの活動」を展開していきたい。

具体的には、きちんとした学習習慣・学習規律の確立を図るとともに、生徒の実態や教科の特性を生かした、わかる授業・生徒のやる気を引き出す教材の開発と工夫した授業づくりを行う。また、生徒の表現活動（言語活動を含む）や研究発表など、それぞれの教科の特性を生かした「学び合いの活動」を取り入れ、個々の生徒の考えを引き出し、その考えを伝え合い認め合って、互いを高め合えるような授業展開を工夫する。教え合い、学び合っていくことで、集団全体の学力向上を図っていく。このことが目指す学校像「清潔でうるおいのある学校・敬愛と協力にあふれた、秩序のある学校・明るく、活気のある学校」につながる活動になると確信し、本主題を設定した。

3. 研究のねらい

それぞれの教科の特性を生かした効果的な「学び合いの活動」を取り入れることにより、「活用する力」を伸ばし、確かな学力を身に付ける。

4. 研究内容

①基本的な考え方

「学び合い活動」とは ※各教科の特性を生かして「場面・形態」自由に設定

[第1段階] 課題に対する個人の意見や考えを持つ。また、それを表現する。

※基礎的・基本的な学習内容を身に付け、まずは課題に対する自分なりの考えを持つことができる。



[第2段階] 互いの意見や考えを交換し合い・教え合う中で、自身の考えを深められる。

(わからなかったことへの解決の糸口がつかめる。または、解決できる。)

※自分なりの意見や考えを表現し認められる。

※他者との意見や考えの交流をする中で、新しい発見があり、自身を高められる。



[第3段階] 課題に対する自身の考えや意見をさらに深め、自らの学習に生かす。

※新しい方法や考えを取り入れ、これからの学習に生かしていける。

各教科の特性を生かした指導を「学び合い活動」の中に意図的・計画的に取り入れることは、その活動の中で思考力・判断力・表現力といった「活用する力」を駆使し、自主的・主体的に学ぶ生徒を育てられることを、実践を通して検証する。

②授業実践等

○一人一授業公開について ※基本的に、今年度中に「一人一授業の公開」をする。

(関ブロでの国語授業公開、10年目研修師範授業公開、研究所の授業公開、各市教研での授業公開、初任研・5年目研修の授業と兼ねてもかまわない。)

○各教科で授業公開する場合は、授業変更しても、必ずその授業は参観する。

授業研究会も、授業を公開した日の放課後に、各教科ごとに部会を開く。

○教科部会ごとに、課題を克服するための手立てとなる「キーワード」を設定してもよい。

(例：板書の工夫・教師の言葉かけなど、教科ごとに統一感を持って、授業を展開するため)

○授業公開後になるべく早くに、その授業を振り返る「校内研修だより」を作成し、北中ホームページに掲載する。